

考察

特定集中治療室病床について

北海道・東北地方では、北海道東部、青森県、秋田県、岩手県では、特定集中治療室病床を保有しない二次医療圏が多く、保有する二次医療圏では、供給過剰である。また、山形県、宮城県、福島県では当該資源を保有するものの、都市部ではやや供給過剰であり、農村部では供給不足であるといった供給体制に関する格差が存在する。中部地方では、新潟県や山梨県では限られた二次医療圏においてのみ資源が保有されている。近畿地方では、南部において供給不足、都市部である中央部ではやや供給過剰の傾向がある。中国地方では、日本海沿岸の各医療圏では保有していない、または供給不足の傾向がある。四国地方では、保有する医療圏においては供給過剰の傾向がある。九州・琉球諸島では、大分県、熊本県、宮崎県北部は保有しない医療圏が多く、保有する医療圏も供給不足の傾向がある。

散布図から、国保老人一人当たり医療費とOE比の関連性はみられなかった。

人工関節置換術について

北海道・東北地方では、比較的需給バランスが取れており、特に山形県において顕著である。関東地方では、栃木県、群馬県において供給不足である医療圏が隣接する傾向が見られた。近畿地方では、他の地方と比較して供給過剰の医療圏が多い。

散布図から、国保老人一人当たり医療費とOE比の関連性はみられなかった。

眼内レンズ挿入術について

東日本よりも西日本において供給過剰である医療圏が多い。特に、広島県、徳島県、高知県、福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県で顕著である。

散布図から、OE比が大きな医療圏であっても国保老人一人当たり医療費は高いとはいえず、国保老人一人当たり医療費とOE比の関連性はみられなかった。

6.1 特定集中治療室（ICU）に関するOE比

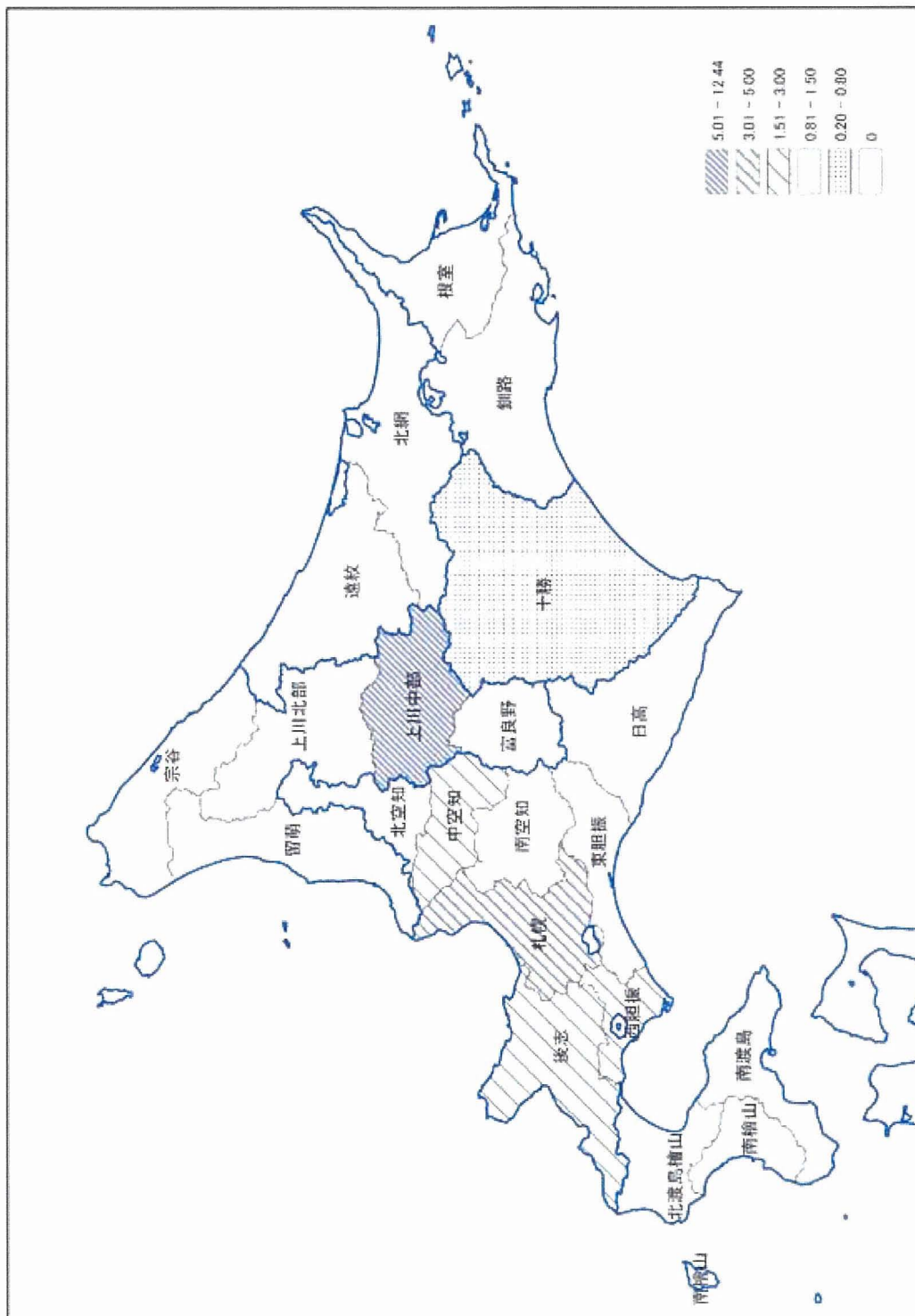


図 6.1 特定集中治療室に関するOE比 北海道

※OE比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

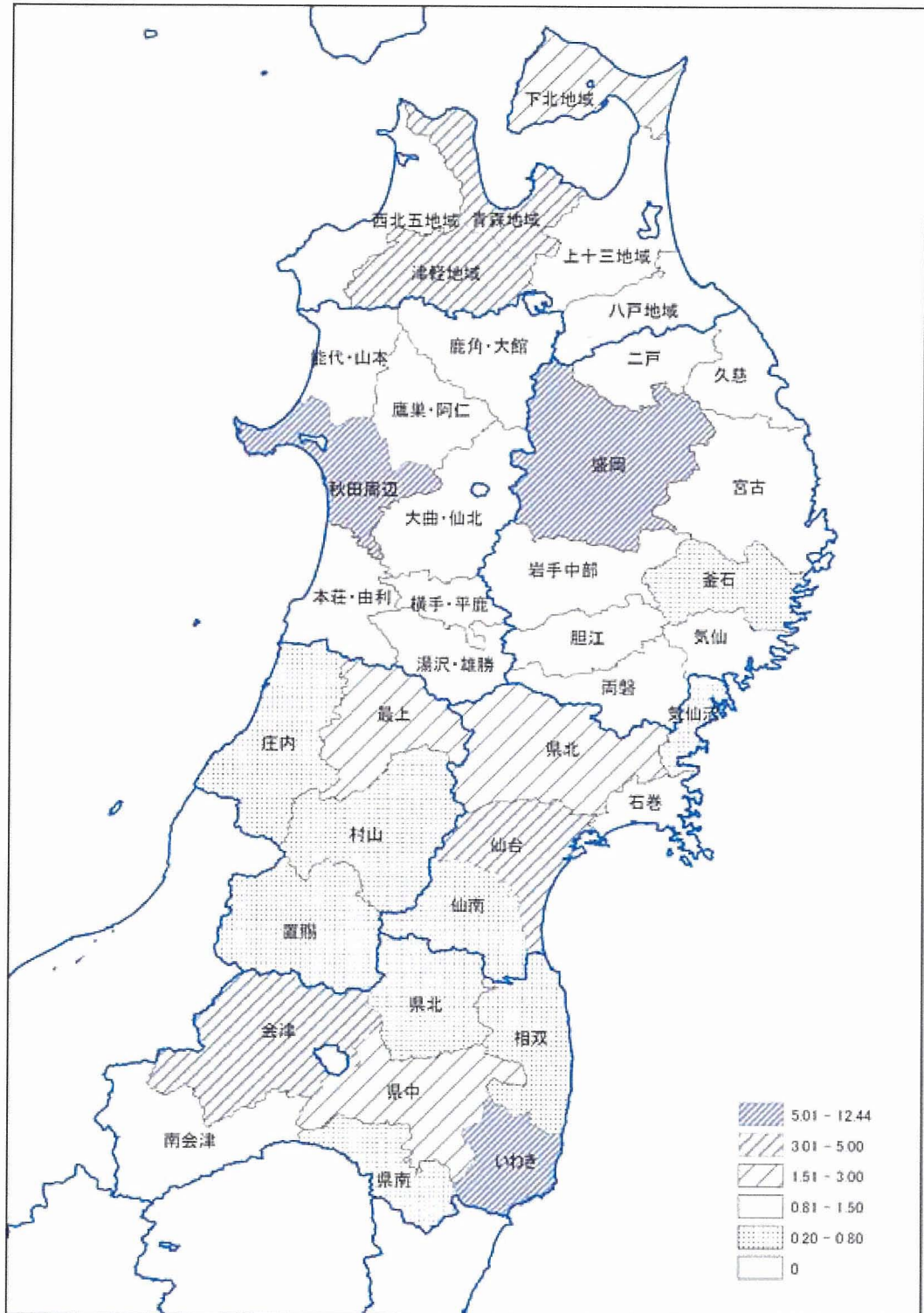


図 6.2 特定集中治療室に関する OE 比 東北

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

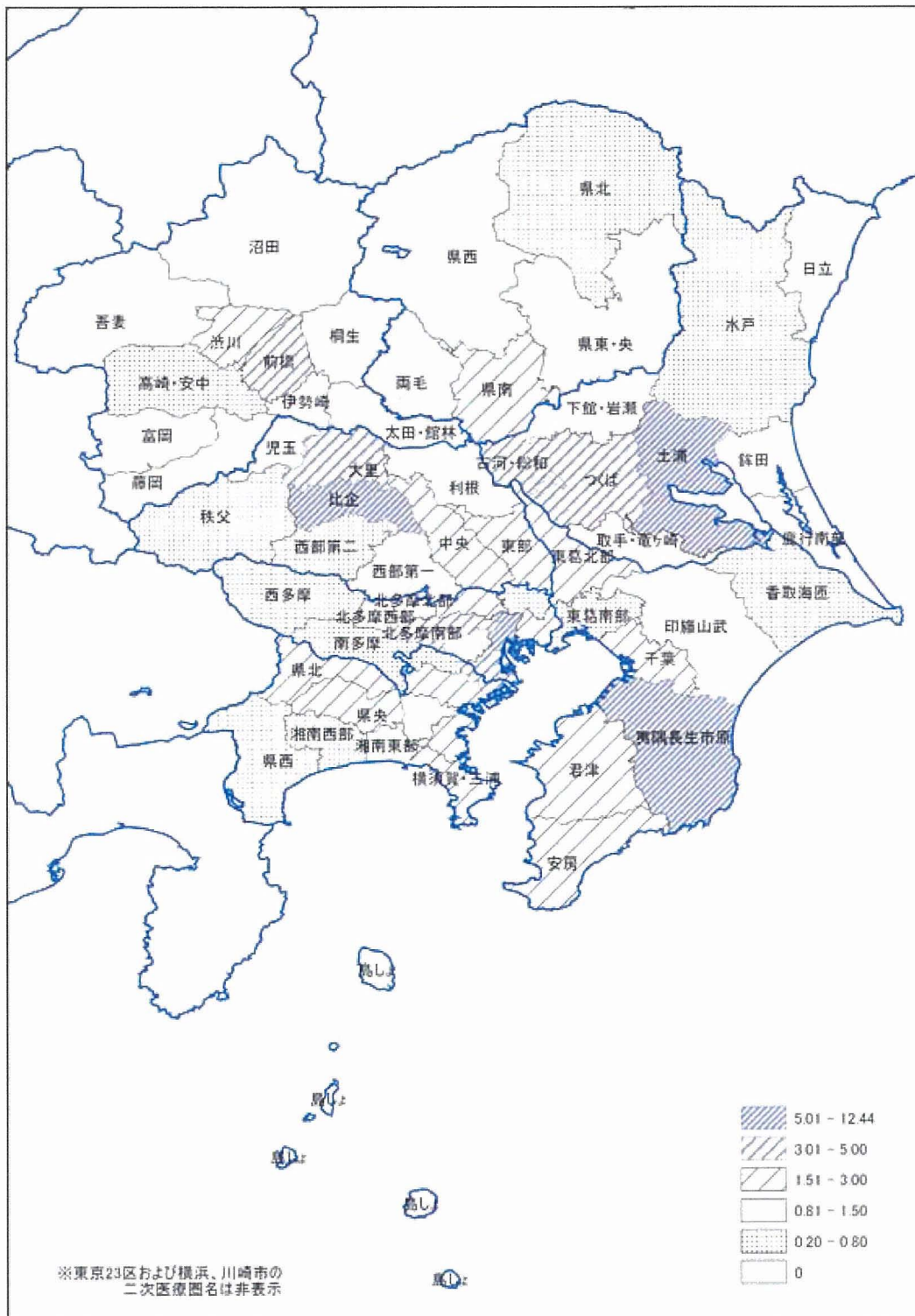


図 6.3 特定集中治療室に関する OE 比 関東

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。



図 6.4 特定集中治療室に関する OE 比 中部

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。



図 6.5 特定集中治療室に関する OE 比 近畿

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

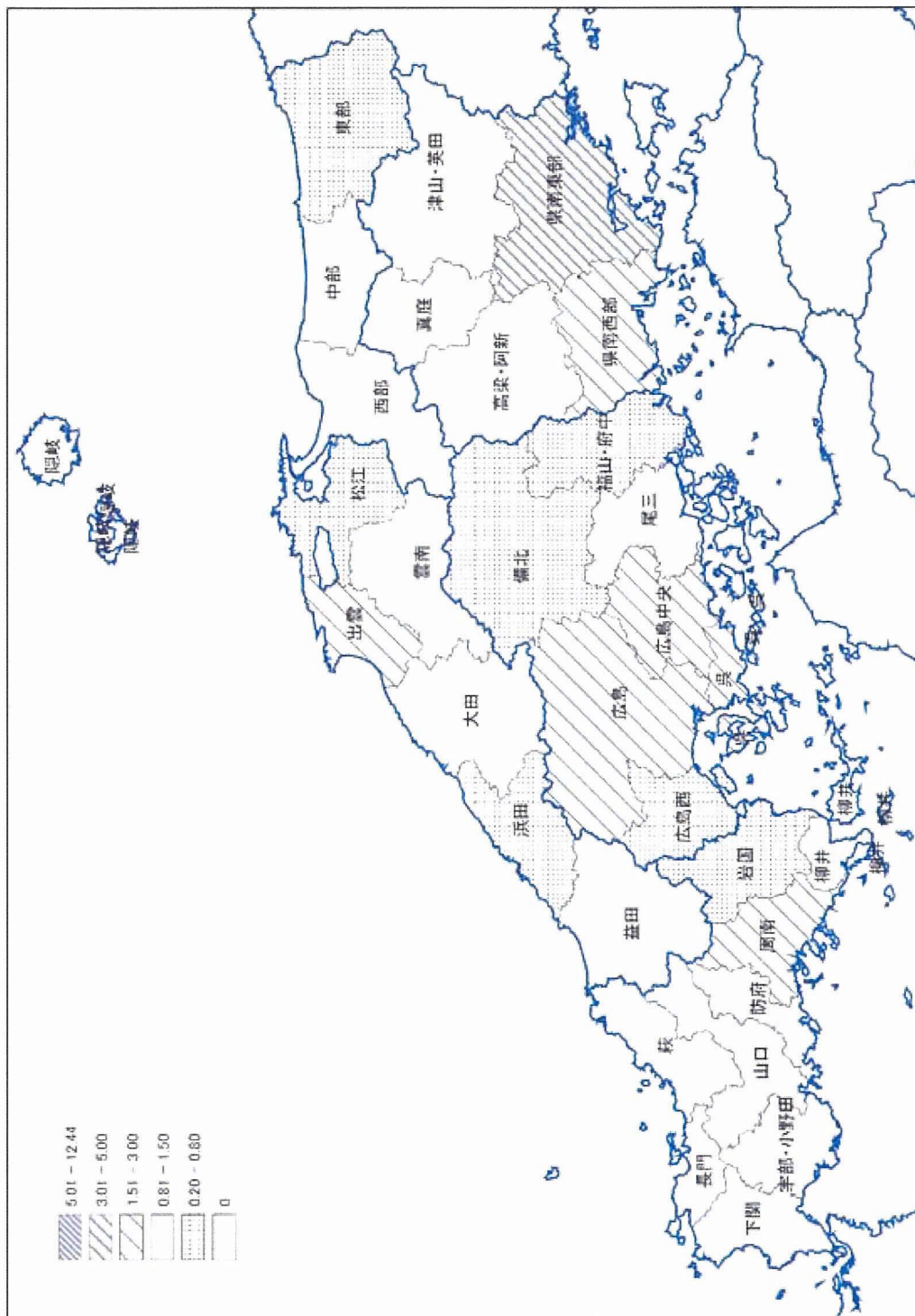


図 6.6 特定集中治療室に関する OE 比 中国

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

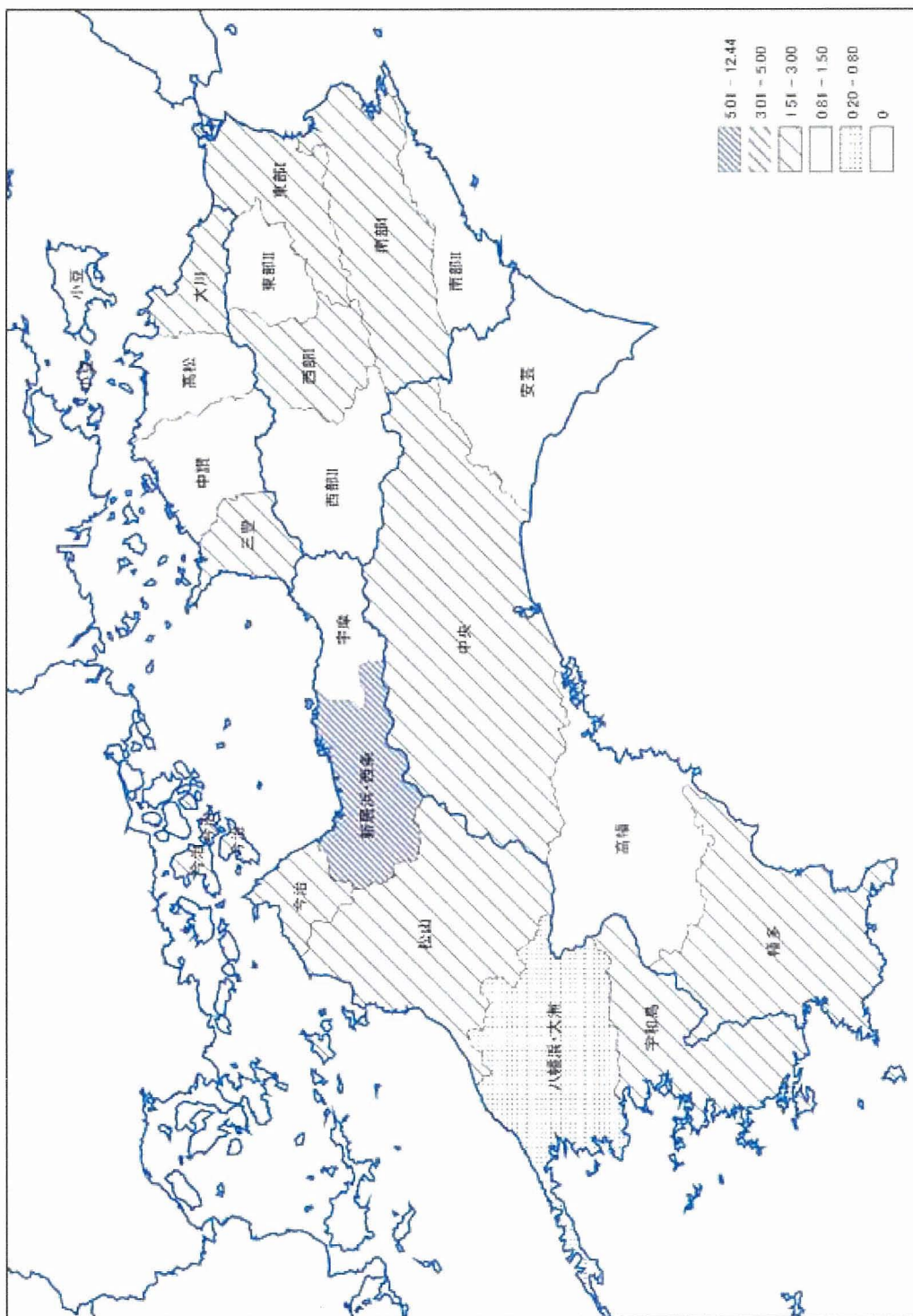


図 6.7 特定集中治療室に関する OE 比 四国

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

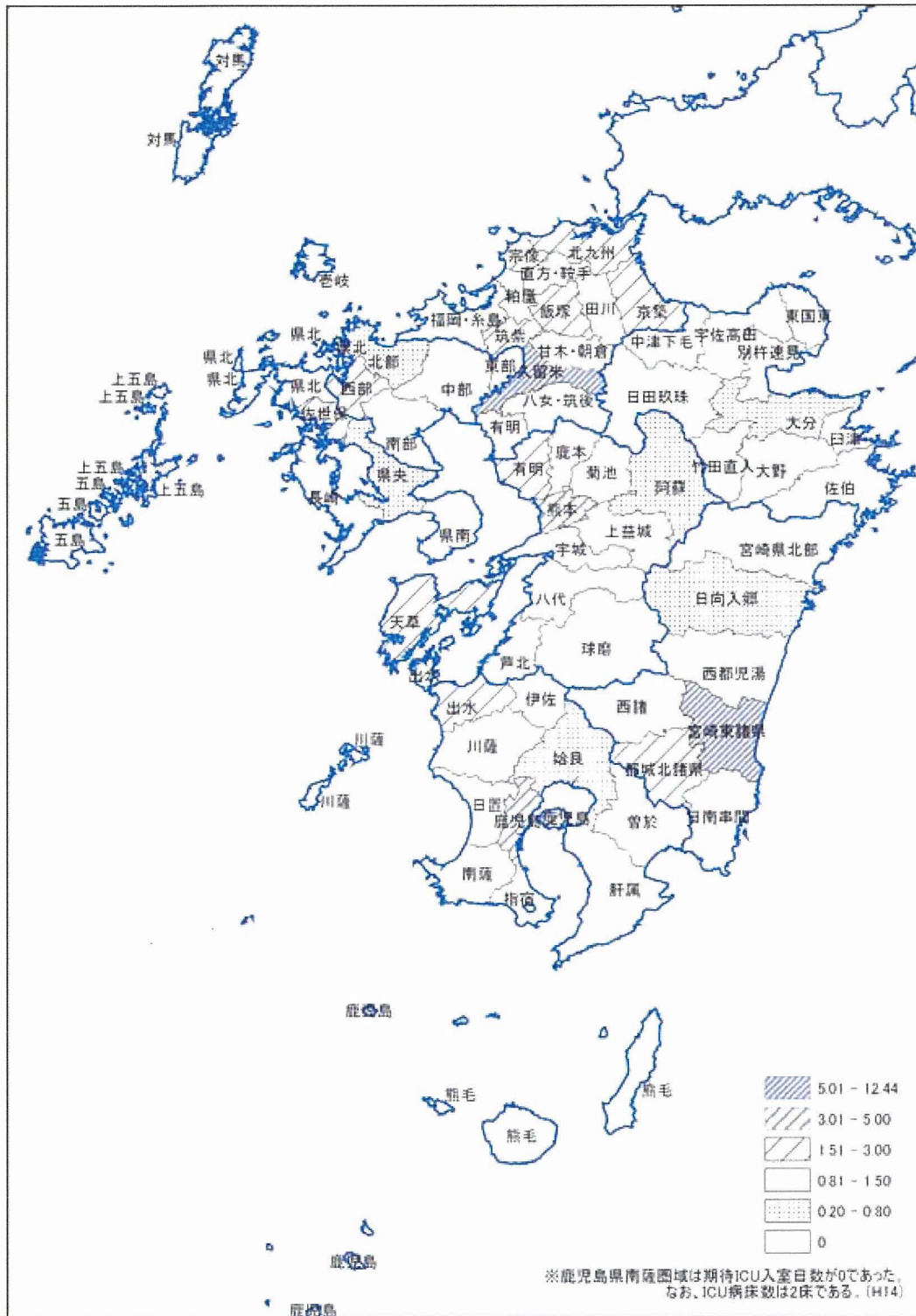


図 6.8 特定集中治療室に関する OE 比 九州

※OE比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

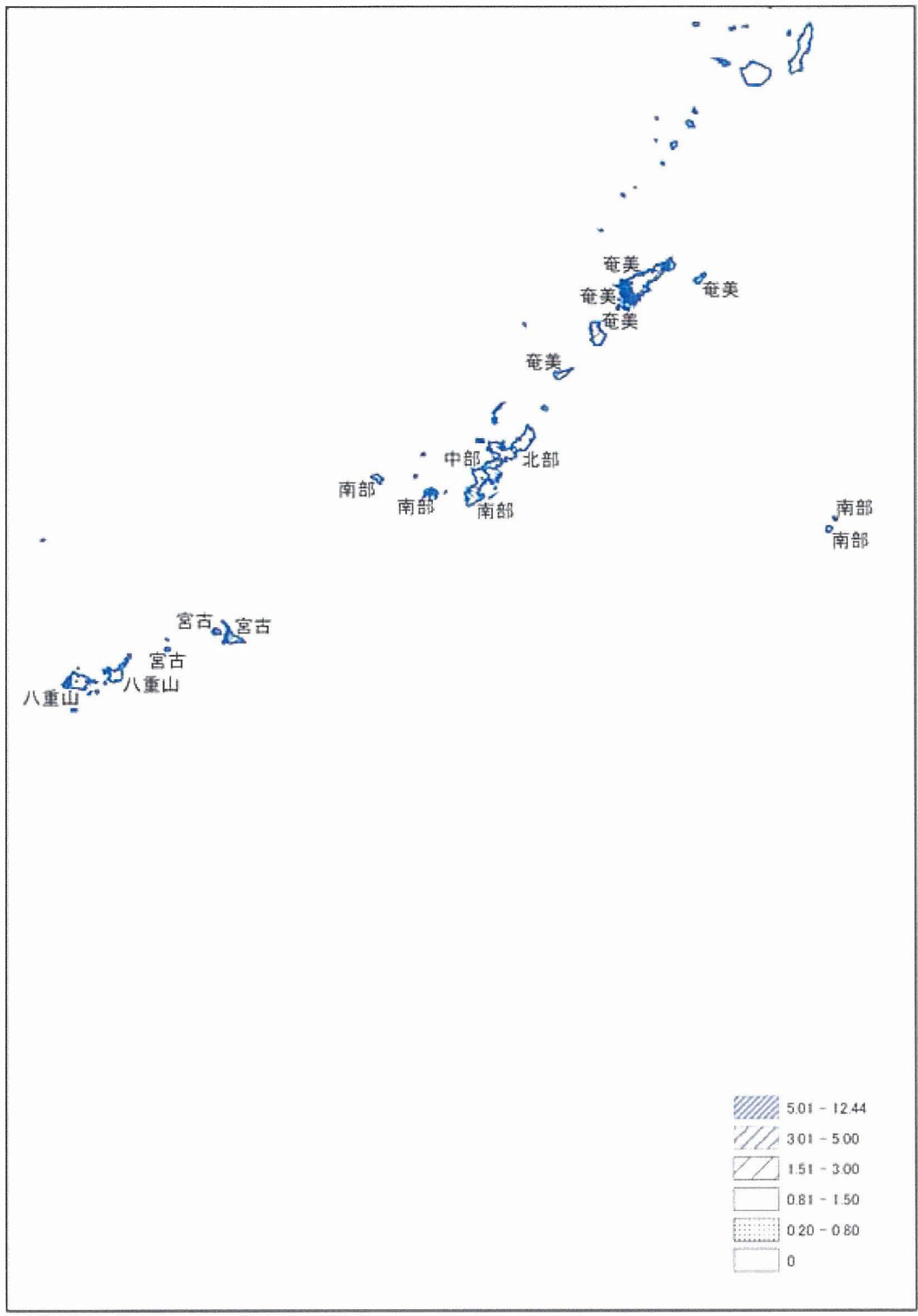


図 6.9 特定集中治療室に関する OE 比 琉球諸島

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

6.2 人工関節置換術に関する OE 比

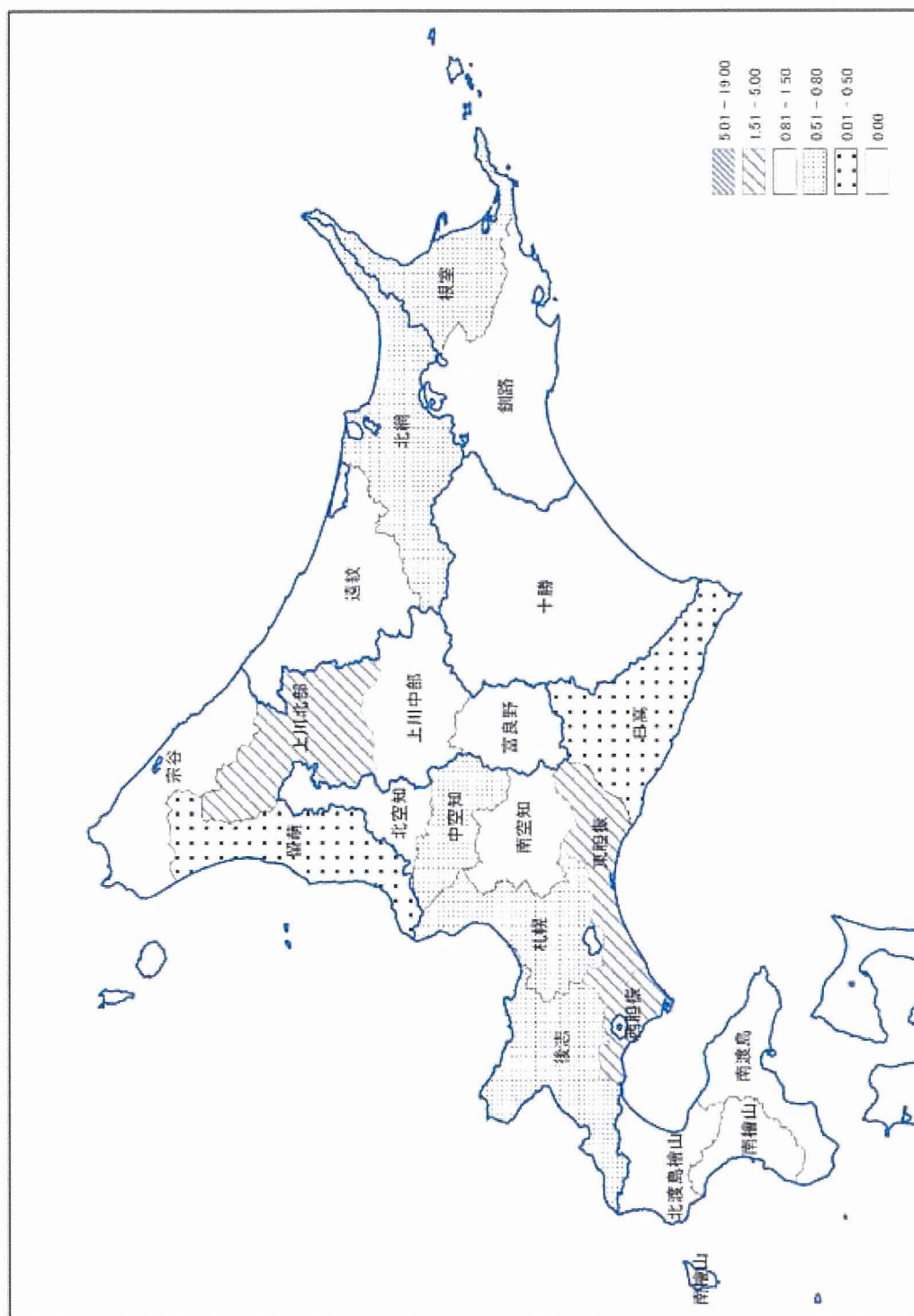


図 6.10 人工関節置換術に関する OE 比 北海道

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。



図 6.13 人工関節置換術に関する OE 比 中部

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

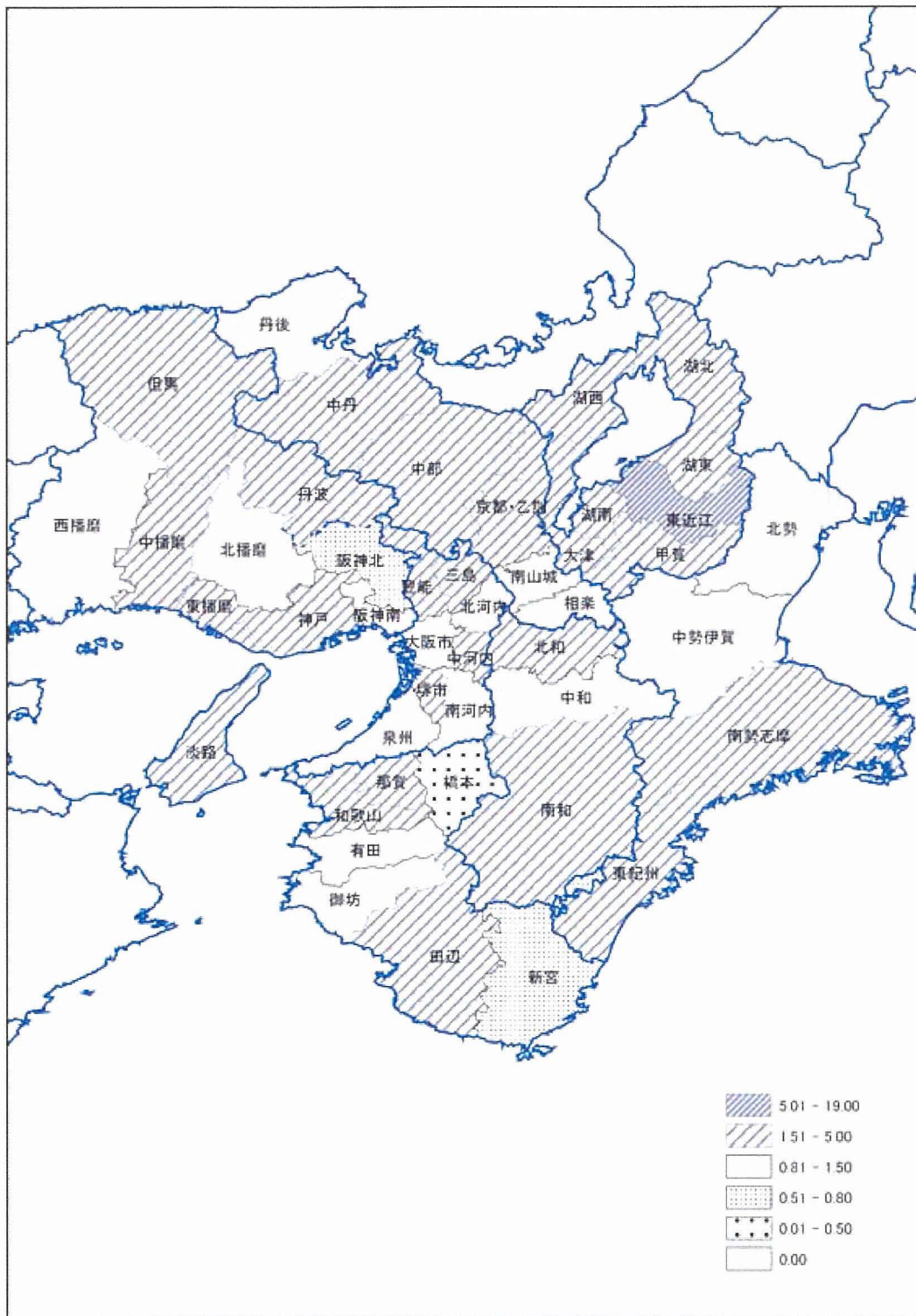


図 6.14 人工関節置換術に関する OE 比 近畿

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

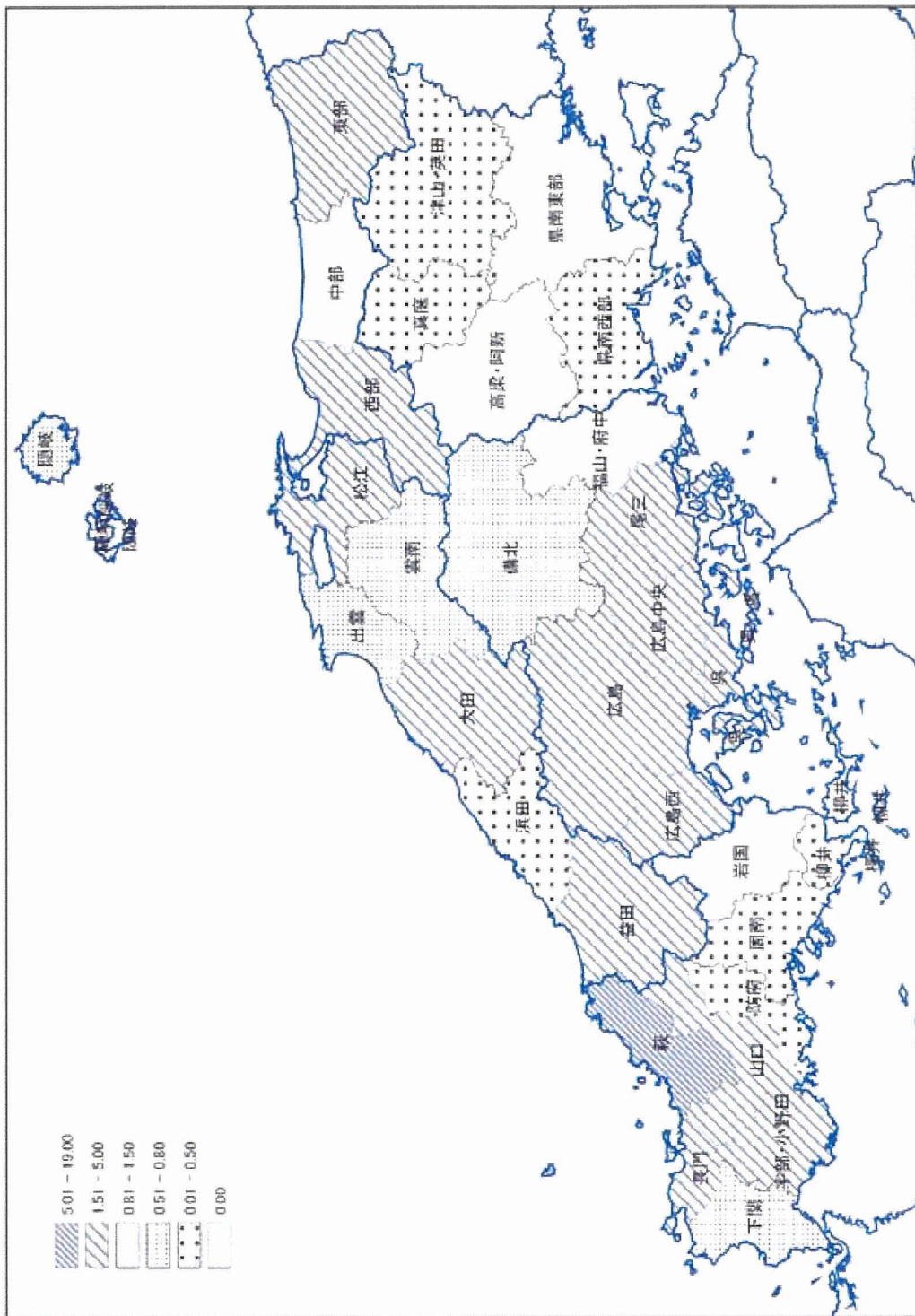


図 6.15 人工関節置換術に関する OE 比 中国

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

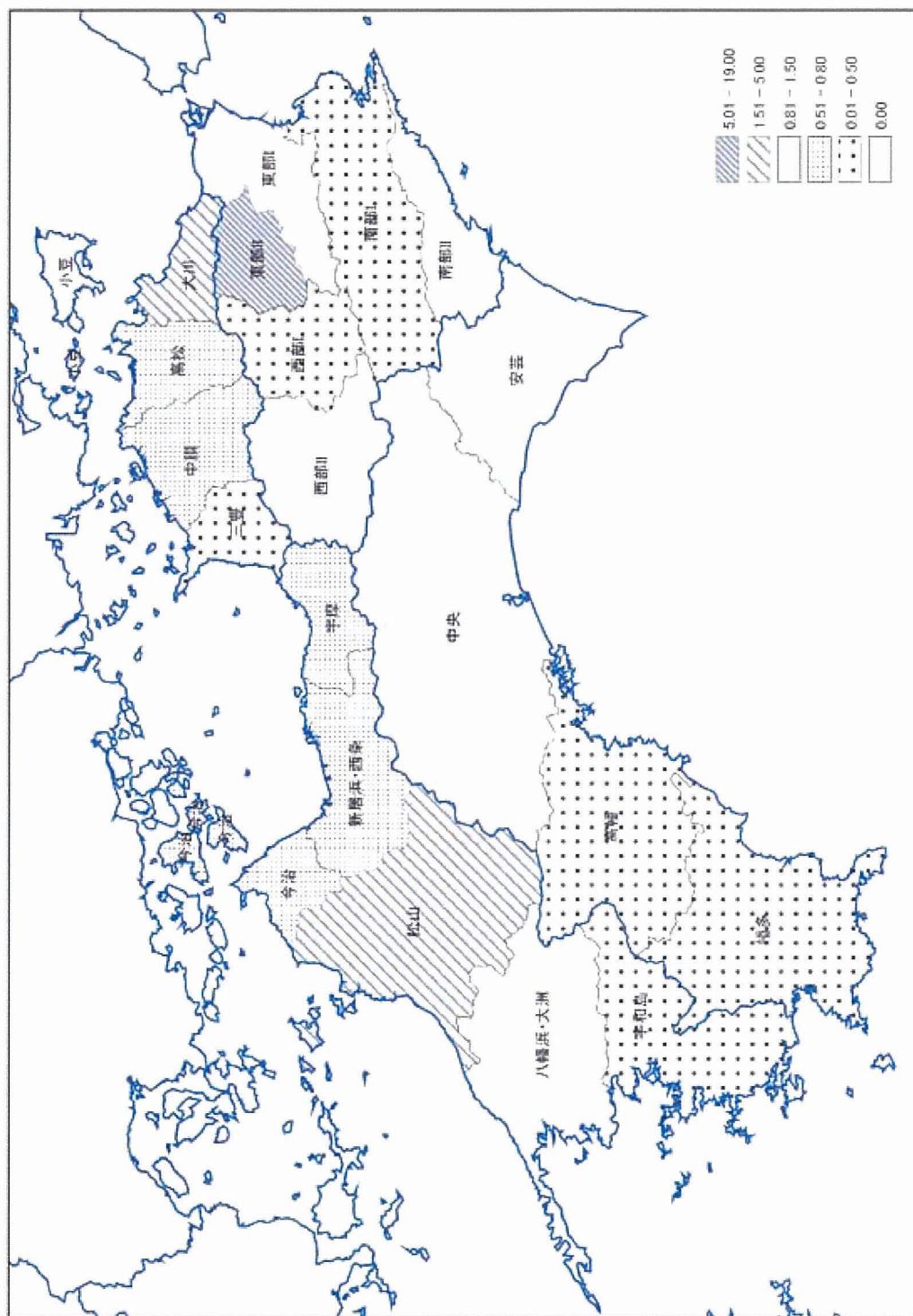


図 6.16 人工関節置換術に関する OE 比 四国

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

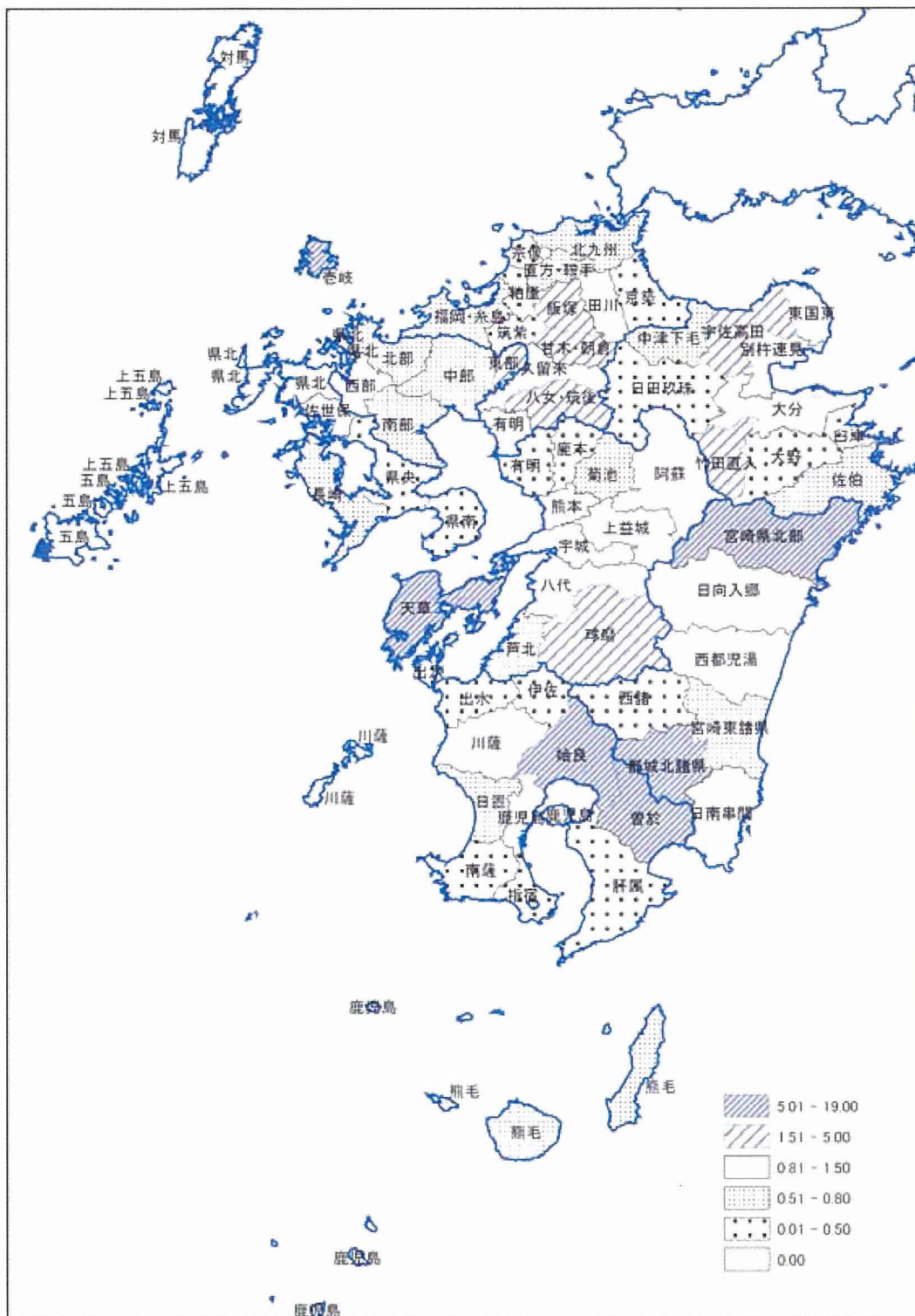


図 6.17 人工関節置換術に関する OE 比 九州

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

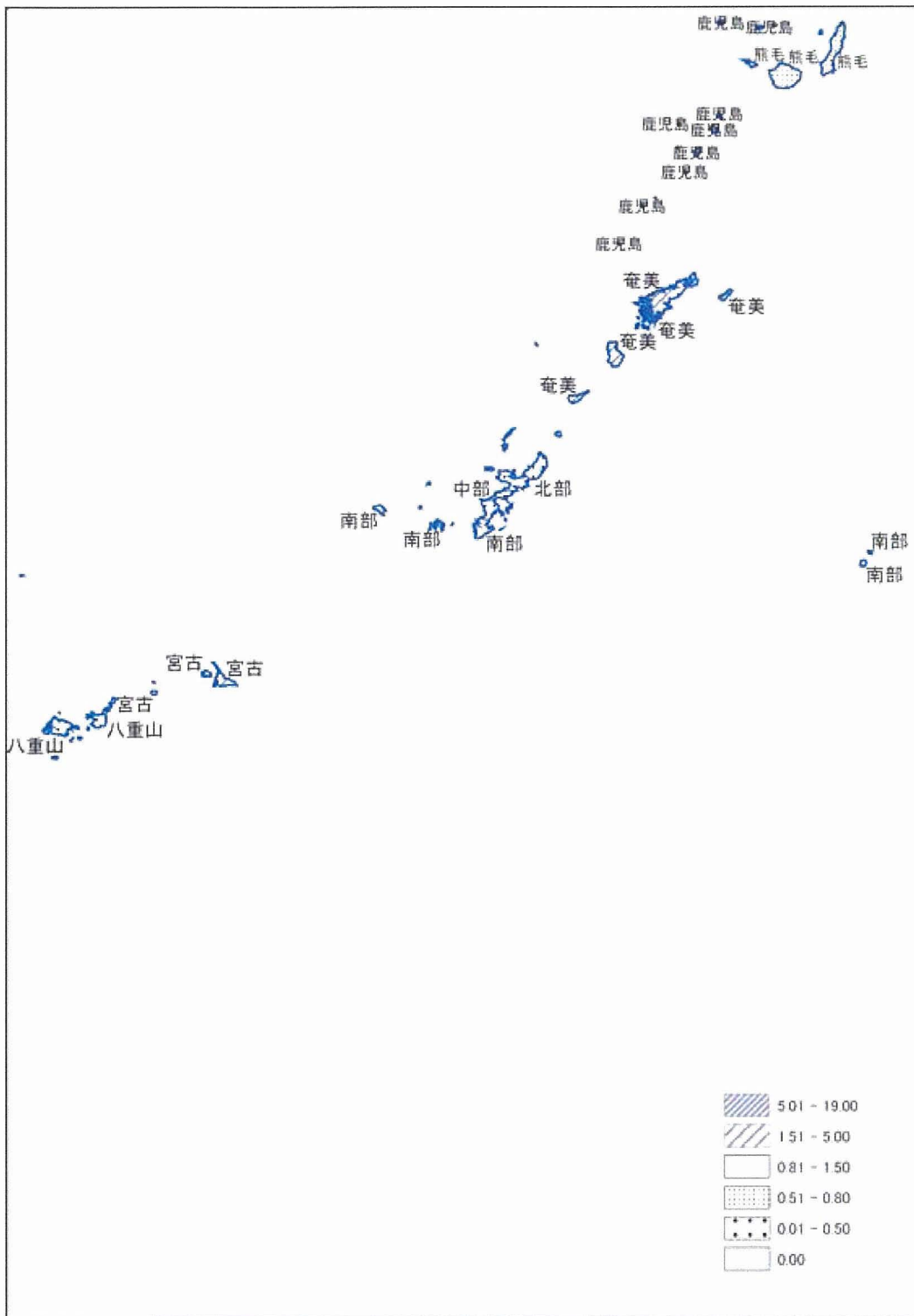


図 6.18 人工関節置換術に関する OE 比 琉球諸島

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。

6.3 眼内レンズ挿入術に関する OE 比

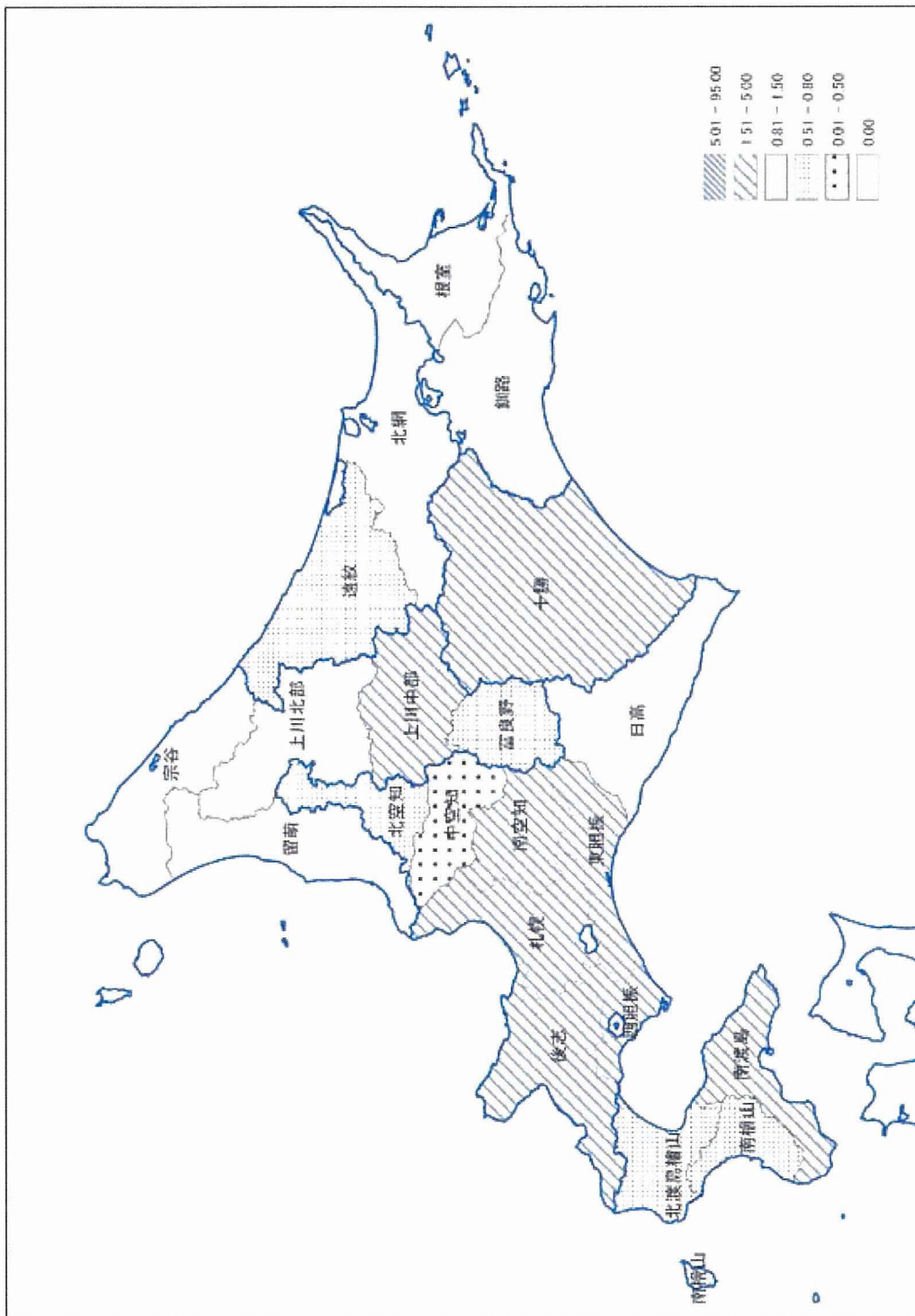


図 6.19 眼内レンズ挿入術に関する OE 比 北海道

※OE 比は実測値に対する予測値の比であり、傷病分類患者数により独自に推計したもの。